



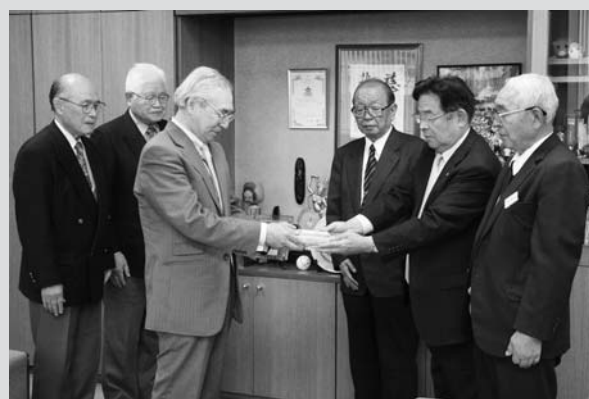
体動かし健康づくり 玄米ニギニギまつり

町玄米ニギニギ体操まつりが11月21日、平泉小学校体育館で開かれました。同体操普及推進員で構成するアップルレディースの主催。ステージ上では、保健センター事業参加者など同体操に取り組む7団体が、それぞれの振り付けで体操を発表しました。発表後には、一関市の健康運動指導士藤野恵美さんによる指導の下、会場全員で体操を実践。約100人の参加者は、運動を通じた健康づくりにすがすがしい汗を流していました。

万が一の火災に備える 町内2会場で消防演習



秋の全国火災予防運動の一環として町消防団の秋季消防演習が11月13日、平泉・長島両小学校を会場に行われました。町消防団員、一関西消防署平泉分署員が出動し、実戦さながらの消防訓練を繰り広げ、児童たちは、キビキビとした動作で校庭に避難。防火への意識を高めていました。



登録を音楽でも盛り上げて 林名誉教授が交響詩を作曲

岩手大名誉教授の作曲家林芳輝さん＝大船渡市在住＝が11月11日に役場を訪れ、自ら作曲した小交響詩「平泉の詩」が入ったCDを町と平泉観光協会、中尊寺、毛越寺に寄贈しました。オーケストラによる気品高い響きを演出。「平泉の文化遺産」の世界遺産登録への願いが込められています。



地震対策の知識深める 7区住民が防災フェア

第7区防災フェア（同区自主防災会主催）が11月21日、「家庭でできる地震対策」をテーマに同区公民館で開かれました。一関西消防署平泉分署の千葉行男消防士長を講師に招き、地震発生時の行動のポイント、防災グッズや消火器の取り扱いなどについて学びました。

毛越寺と中尊寺視察 クロアチア駐日大使

マルコ・ポーロの生誕地とされるクロアチアのドラゴ・シュタンブク駐日特命全権大使が11月3日、毛越寺と中尊寺を視察しました。毛越寺では藤里明久執事長の案内で浄土庭園や常行堂など、中尊寺では町職員らの案内で金色堂や白山神社能舞台などをそれぞれ見学。平泉訪問が念願だったという大使は「マルコ・ポーロがあこがれていた地に来ることができて夢のよう。『平泉の文化遺産』の世界遺産登録を信じている」と語りました。



思いやりの心大切に 男女共同参画講演会

町地域婦人団体協議会が主催する男女共同参画講演会が11月22日、平泉文化遺産センターで約150人が参加して開かれました。子守唄研究家の川原井泰江さんが「日本の伝承唄にみる女性と子育て」と題して講演。日本の女性史や子育ての推移について説明しながら「男女の性別にかかわらず、自分ができることを行えばいい。相手に対して温かい心で接することが大事」と強調しました。



池の大きさおおむね把握 無量光院跡で現地説明会

特別史跡・無量光院跡の第22次調査現地説明会が10月31日、同遺跡で開かれました。今回の調査では、池跡東側と南側の岸部分を確認。過去の調査結果を踏まえ、池の大きさをおおむね把握しました。参加者は調査員の説明を聞きながら、歴史のロマンに思いをはせていました。



文化遺産を歩いて体験 歴史の道ウォーキング

史跡地などを歩いて訪ねる「歴史の道ウォーキング」が11月15日、旧観自在王院庭園を発着点に県ウォーキング協会県大会と合同で行われました。歴史の道ウォーキング部門の参加者は、観光ボランティアらの説明を聞きながら史跡を巡り、奥州藤原氏時代の平泉に思いをはせていました。